

UT（超音波探傷）実技試験におけるデジタル超音波探傷器について

（本書記載の内容は、「日程表」の「受験申請補足資料－A」及び「受験申請補足資料－B」より抜粋）

1. JIS Z 2305 の超音波探傷試験（UT）実技試験におけるデジタル超音波探傷器の持込み受験について （「日程表」の「受験申請補足資料－A」より抜粋）

JSNDI試験委員会U部会では、JIS Z 2305 に基づく認証制度の超音波探傷試験(UT)実技試験においてデジタル超音波探傷器の持込み受験を認めておりましたが、2012 年秋期の試験をもってデジタル超音波探傷器の持込み受験は終了いたしました。2013 年春期試験よりデジタル超音波探傷器の持込み受験はできません。

超音波探傷試験(UT)を受験される方は「受験申請補足資料－B」を確認のうえ、JSNDI仕様デジタル超音波探傷器から希望のタイプを選択し、受験申請書の実技選択欄に記入してください。記入のない場合、こちらでタイプを指定させていただきます。

2. 超音波探傷試験 (UT) 実技試験で使用するデジタル超音波探傷器について (「日程表」の「受験申請補足資料-B」より抜粋)

超音波探傷試験 (UT) の実技試験では、JSNDI の準備するデジタル超音波探傷器を使用します。使用するデジタル超音波探傷器は、JSNDI 仕様デジタル超音波探傷器の 2 つのタイプ (Gタイプ、Rタイプ) から 1 つを選択します。受験を希望する方は下記を参考に受験申請書の記入を行ってください。

《超音波探傷試験 (UT) の受験を希望する場合の「実技選択」の記入方法》

下記を参考に、使用を希望するデジタル超音波探傷器に対応する数字 (「2」又は「3」) を受験申請書の実技選択欄に記入してください。

2 : Gタイプ探傷器受験*1

3 : Rタイプ探傷器受験*1

*1 : 各タイプの説明については、当協会ホームページ (http://www.jsndi.jp) の「JSNDI 仕様デジタル超音波探傷器の基本操作仕様について」を参照してください。

2013 年春期試験よりデジタル超音波探傷器の持込み受験はできません。

＜UT 3 受験申請の方の「実技選択」＞

- ・ UT 3 二次試験日の時点で有効な UT 2 資格を所有している方は、実技試験は課されません。
・ しかし、受験申請時に UT 2 資格を所有していても、二次試験日の時点で UT 2 資格を失効していた場合、実技試験が課されます。そのため、受験申請の際、UT 2 資格を所有していても「実技選択」が必要となります。
・ よって、受験申請書の「実技選択」欄に「2」、「3」以外の数字 (「0」、「1」等) を記入されたり、「空白」とされた方については、こちらで「2 (Gタイプ)」又は「3 (Rタイプ)」を指定させていただきます。

＜UT 1 及び UT 2 受験申請の方の「実技選択」＞

- ・ 受験申請書の「実技選択」欄に「2」、「3」以外の数字 (「0」、「1」等) を記入されたり、「空白」とされた方については、こちらで「2 (Gタイプ)」又は「3 (Rタイプ)」を指定させていただきます。

＜実技選択の変更について＞

- ・ 受験票及び通知書に記載された「実技選択」の変更を希望される方は、一般社団法人 日本非破壊検査協会 認証事業本部にご連絡ください。
・ 「実技選択」の変更期限は、一次試験初日の前日までとなっており、期限後の変更は一切できませんのでご注意ください。

JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験 新規受験申請書
Form with fields for applicant information, exam details, and contact info. Includes JSNDI logo and barcode.